新しいクオリティへ、新しいスピードで。 『りそな』
HUMAN COMMUNICATION

平成24年3月期 第2四半期
（平成23年9月 中間期）
決算ハイライト

平成23年11月11日

りそなホールディングス
RESONA

Ⅰ．平成23年9月中間期の概要

（単位：億円）

■ HD連結中間純利益：1,282億円を計上．．．Page1,2

・前年同期比464億円（＋56.8%）、予想比532億円（＋70.9%）増益

・税金等調整前中間純利益：前年同期比252億円（＋19.3%）増益

⇔ 与信費用：前年同期比255億円（△79.0%）減少、予想比（銀行合算）でも274億円減少、増益の大宗を占める

■ トップライン：小幅減益ながら予想比増益を確保．．．Page1,2,3,4

⇒ 信託受益権配当、重点ビジネスにおける手数料の増収、等で、預貸金利益など前年同期比減益項目を補完

・業務粗利益（銀行合算）：予想比114億円（＋3.8%）増益

・実勢業務純益（銀行合算）：予想比143億円（＋11.4%）増益

⇔ 裏付資産売却に伴う信託受益権配当を計上：134億円（りそな銀行）

⇔ 金利動向を的確に捉え債券関係損益を積上げ：154億円（銀行合算）

⇔ 投資信託販売、不動産仲介が順調、役務利益の増益を牽引

⇔ ローコスト運営が浸透、経費率（銀行合算）は50%台前半を維持

■ リスク耐久性の高い資産構造．．．Page5,6

・23年9月末不良債権比率（銀行合算）：2.50%、引き続き低水準

・23年9月末開示不良債権（銀行合算）：6,666億円、23年3月末比略横這い

・23年9月末保有株式残高（銀行合算）※：3,491億円、HD連結Tier1対比22.7%

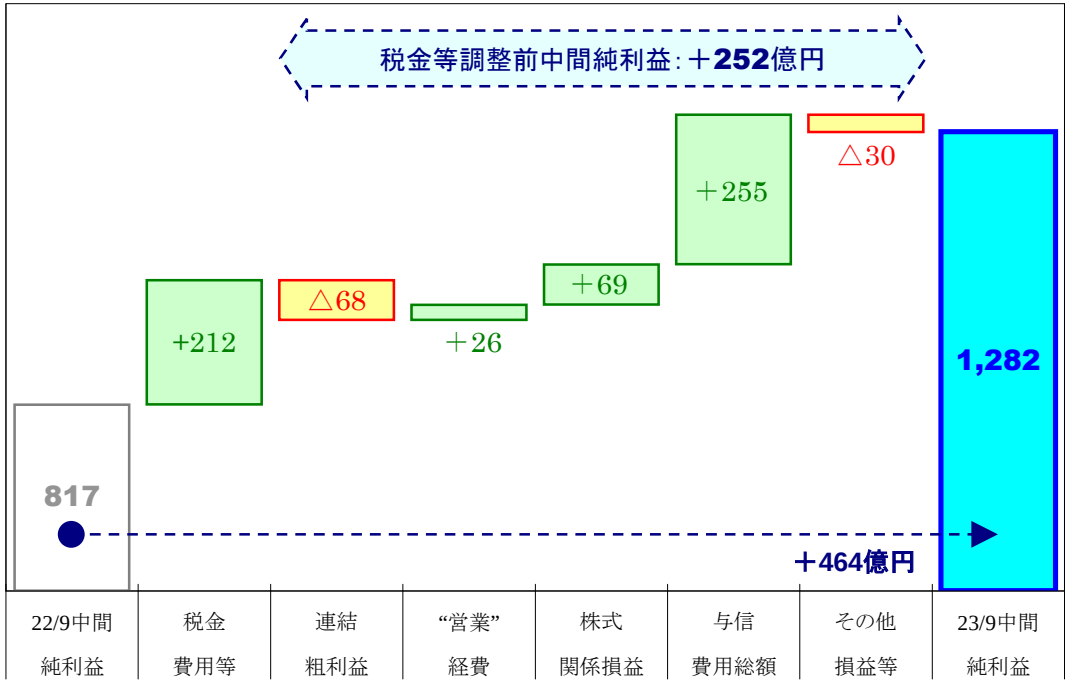
・23年9月末その他有価証券評価差額（銀行合算）：638億円の含み益

■ 適切な自己資本比率を確保、健全性を維持．．．Page6

・23年9月末HD連結自己資本比率（速報値）：12.47%　、同Tier 1比率：8.67%

※ 取得原価ベース、規制対象外株式（子会社・関連会社株式・非上場株式）を除く

○ HD連結・中間純利益の前年同期比増減要因



HD《連結》	23年9月期	前年同期比	予想比（23年5月公表）
経常収益	4,532	△71	＋332
経常利益	1,566	＋419	＋596
当期純利益	1,282	＋464	＋532

HD〈単体〉	23年9月期	前年同期比	予想比（23年5月公表）
営業利益	761	＋621	＋61
経常利益	762	＋618	＋62
当期純利益	762	＋607	＋62

	銀行合算〈単体〉【23年9月期】	前年同期比	予想比（23年5月公表）	りそな〈単体〉	前年同期比	予想比（23年5月公表）	埼玉りそな	前年同期比	予想比（23年5月公表）	近畿大阪〈単体〉	前年同期比	予想比（23年5月公表）
業務粗利益	3,094	△41	＋114	2,097	＋14	＋132	729	△16	△11	266	△39	△14
経費	△1,700	＋22	＋30	△1,119	＋17	＋16	△377	△0	＋8	△203	＋4	＋2
実勢業務純益*1	1,393	△19	＋143	978	＋31	＋148	351	△16	△4	63	△34	△12
経費率（信託勘定処理考慮）	54.9%	＋0.0%		53.3%	△1.2%		51.7%	＋1.1%		76.1%	＋8.3%	

*1 実勢業務純益：信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

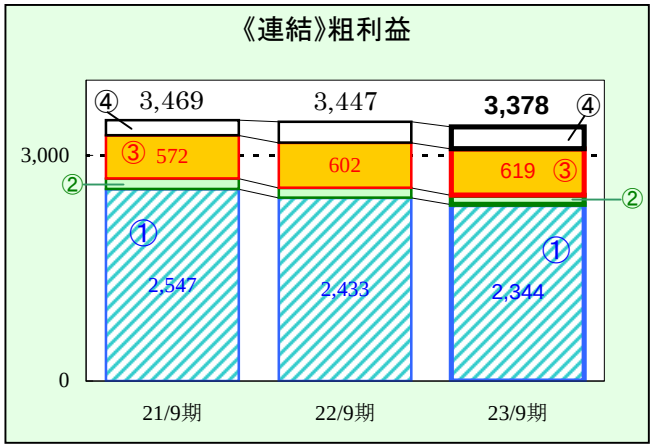
注1）：金額については単位未満を切捨て表示

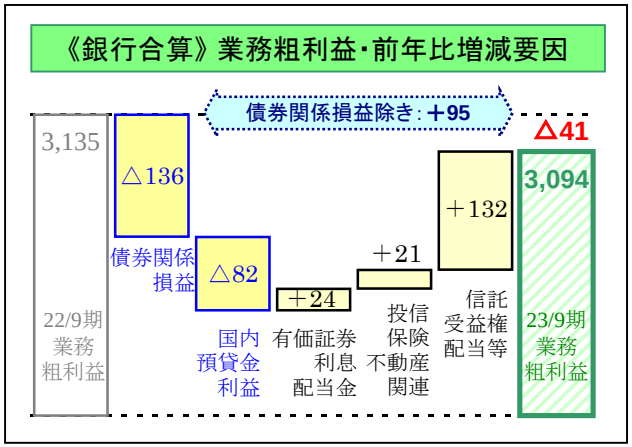
注2）：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

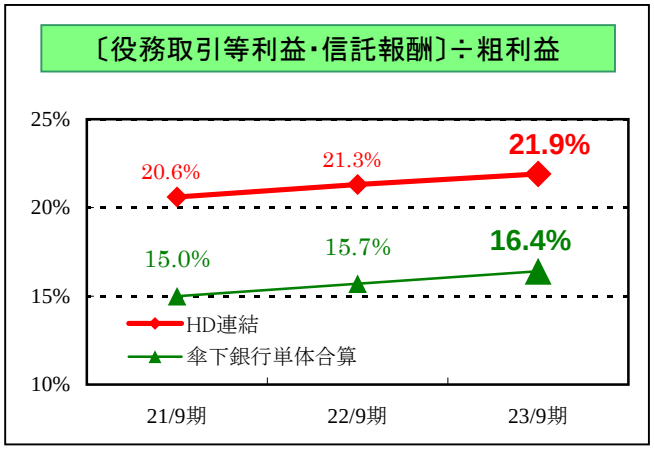
（単位：億円）

Ⅱ．平成23年9月中間期の損益状況等

	HD《連結》 (A)	前年同期比	連単差 (A)－(B)	傘下銀行単体合算 (B)	前年同期比	うち りそな〈単体〉	うち 埼玉りそな	うち 近畿大阪〈単体〉	連単差(A)－(B)の内訳など〔概数〕
粗利益〔連結/業務〕	3,378	△68	＋284	3,094	△41	2,097	729	266	
① 資金利益	2,344	△89	＋49	2,294	△71	1,423	644	227	カード23他
うち国内預貸金利益				2,040	△82	1,279	554	205	預貸金利益：国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	122	△9	―	122	△9	122	―	―	
③ 役務取引等利益	619	＋16	＋231	387	＋25	282	71	33	保証146、カード77、他
④ その他業務粗利益	292	＋13	＋3	289	＋14	269	13	5	
実勢業務純益				1,393	△19	978	351	63	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費	△1,814	＋26	△96	△1,718	＋24	△1,121	△386	△210	カード△62、保証△18、他
株式関係損益	2	＋69	△0	3	＋70	5	△1	△0	
与信費用総額	△67	＋255	△71	4	＋185	43	△16	△22	保証△50、カード△22、他
その他損益等	52	△30	＋9	43	△25	38	5	△1	
税引“前”中間純利益	1,551	＋252	＋124	1,426	＋214	1,063	331	31	
税金費用ほか	△269	＋212	△64	△204	＋241	△122	△132	50	少数株主利益△20、HD他税金費用他△44
税引後中間純利益	1,282	＋464	＋60	1,222	＋455	941	198	82	

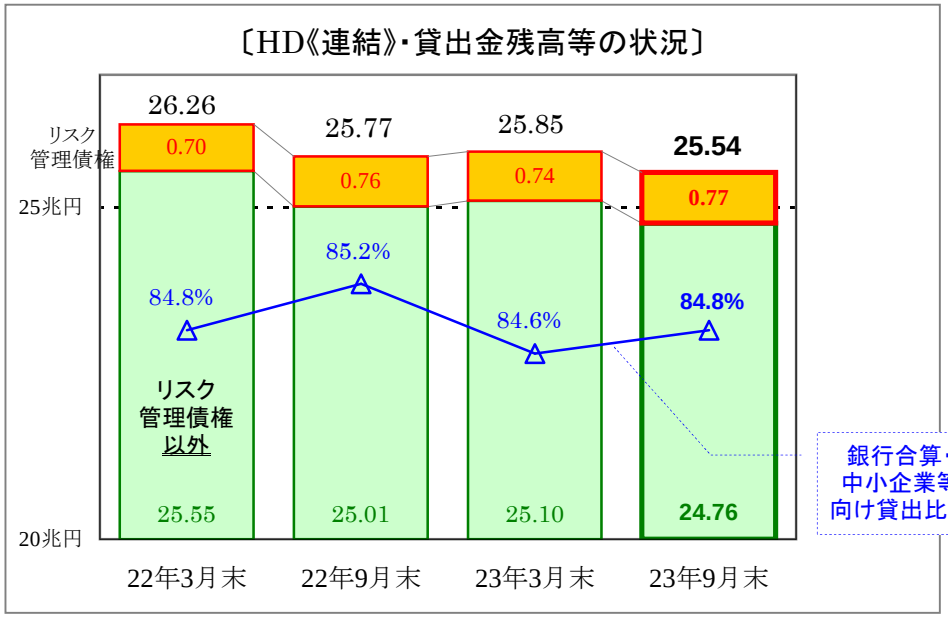


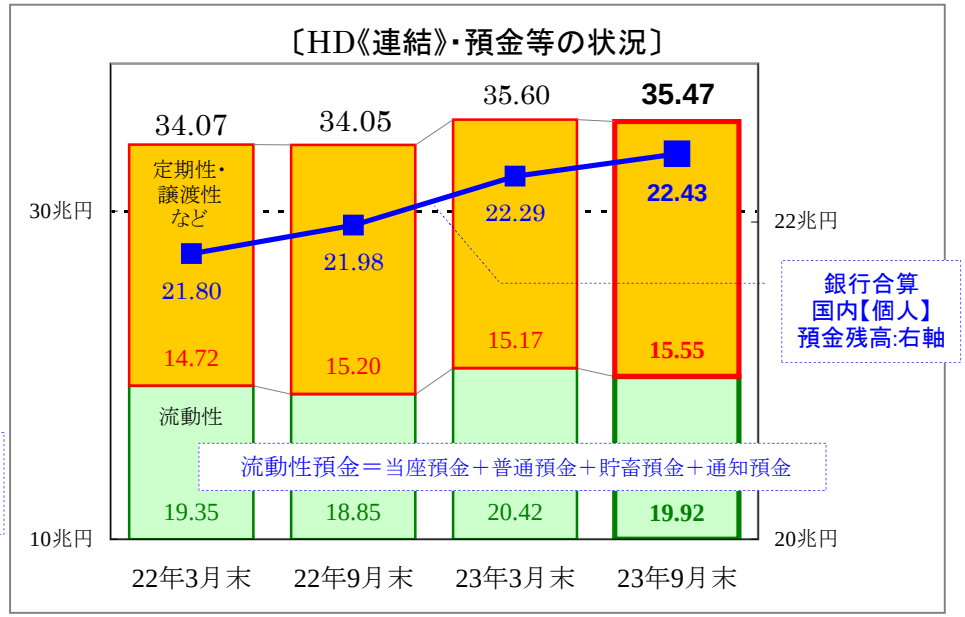


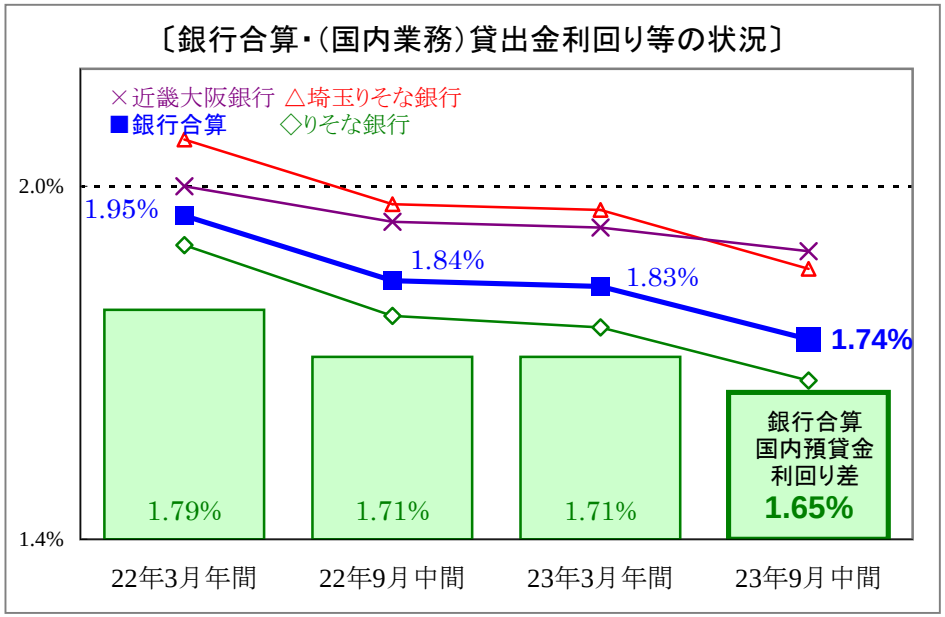


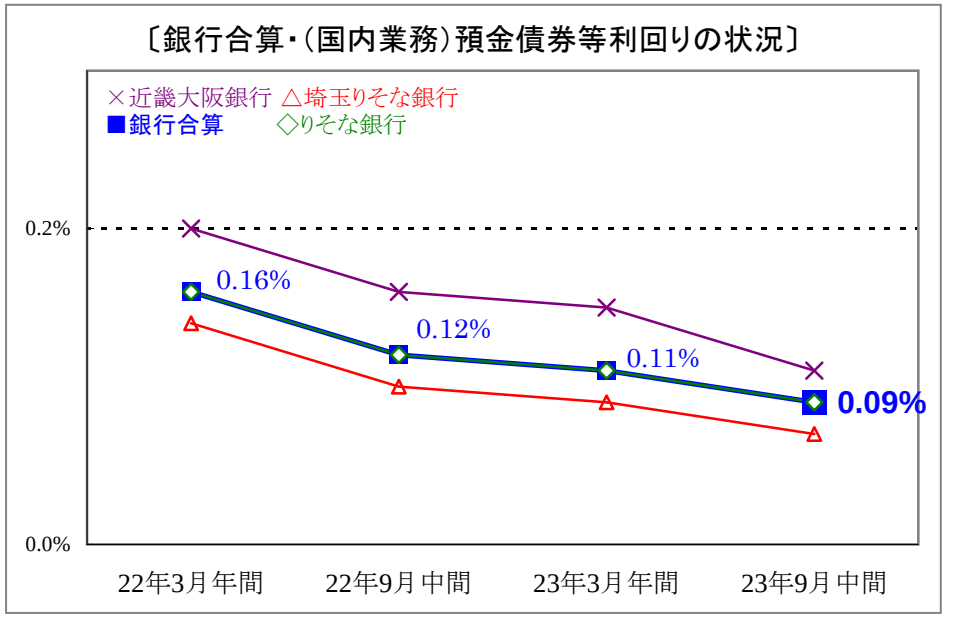
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況







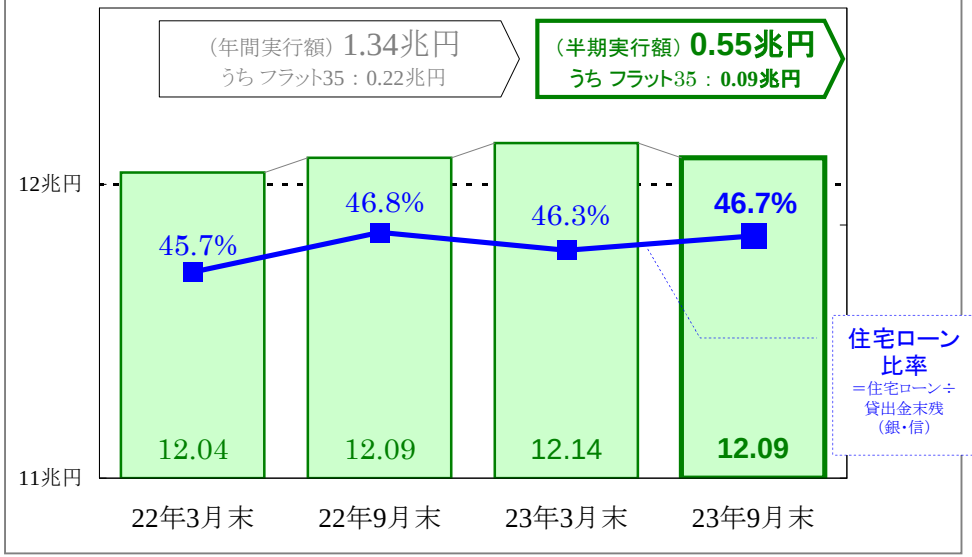


注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅳ. 重点ビジネスの状況

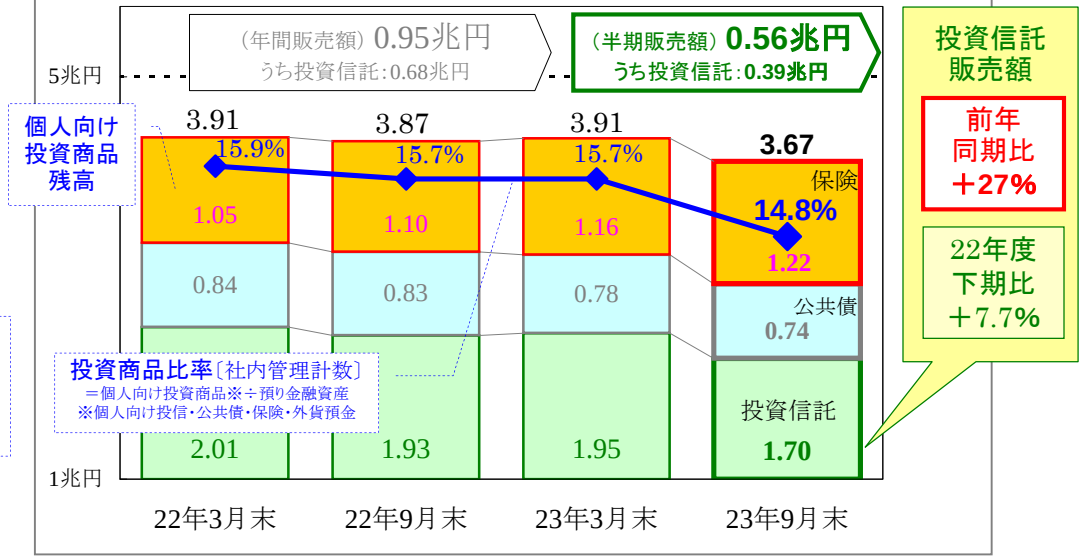
〔銀行合算・住宅ローンの状況〕

※一部、社内管理計数/実行額にフラット35を含む



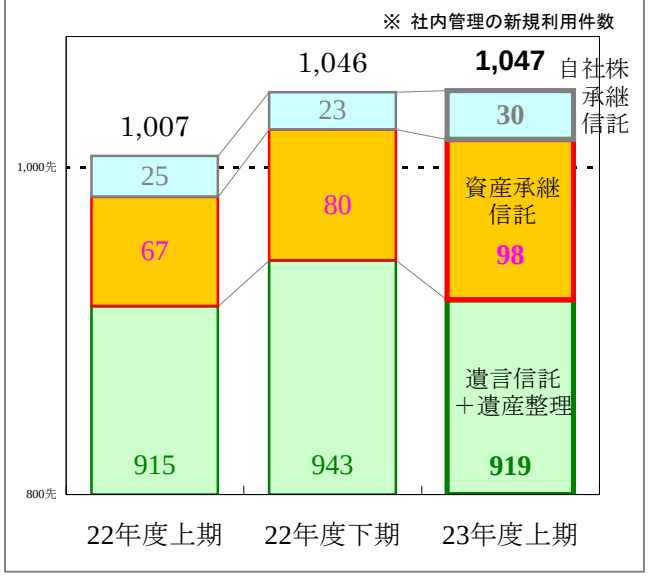
〔銀行合算・個人向け投資商品の状況〕

※ 一部、社内管理計数



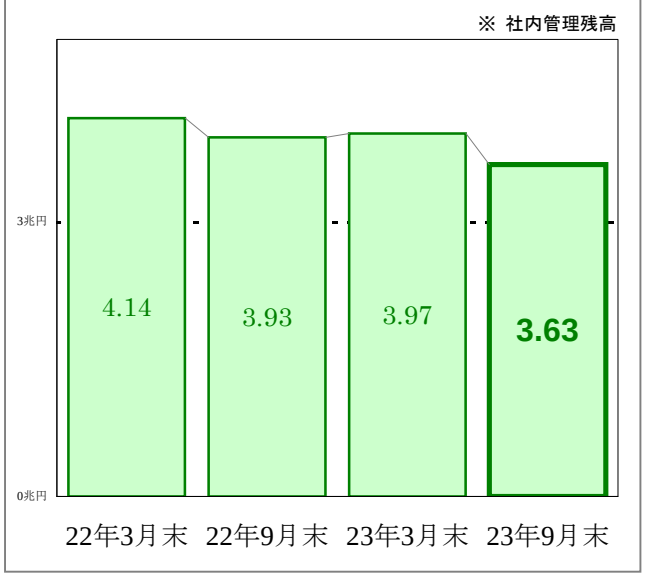
〔りそな銀行・資産承継ビジネス※の状況〕

※ 社内管理の新規利用件数



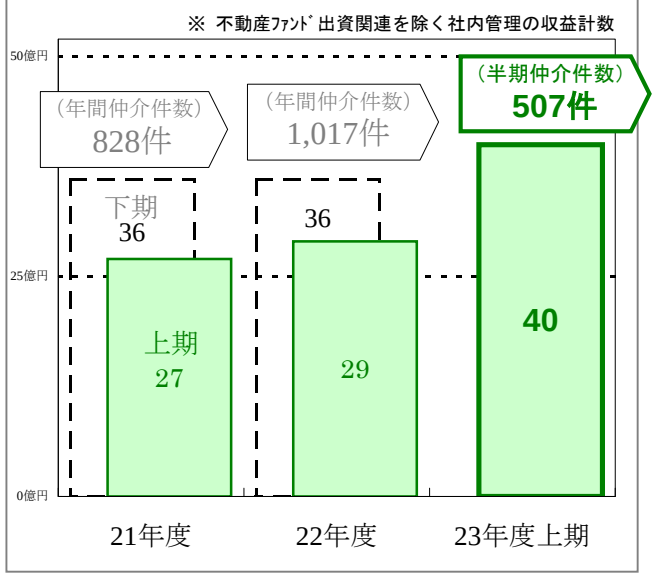
〔りそな銀行・企業年金受託残高※の状況〕

※ 社内管理残高



〔りそな銀行・不動産業務※の状況〕

※ 不動産ﾌｧﾝﾄﾞ出資関連を除く社内管理の収益計数

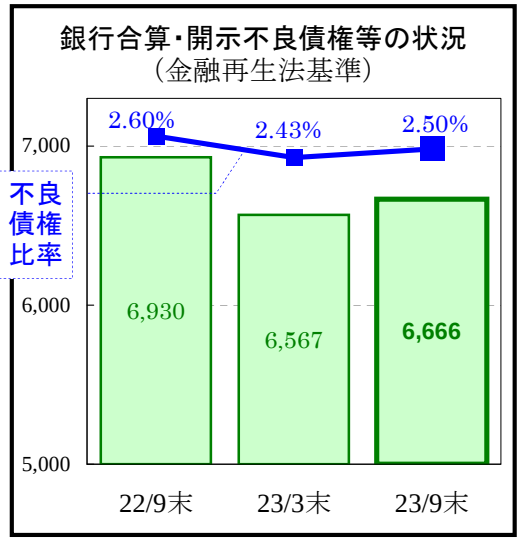


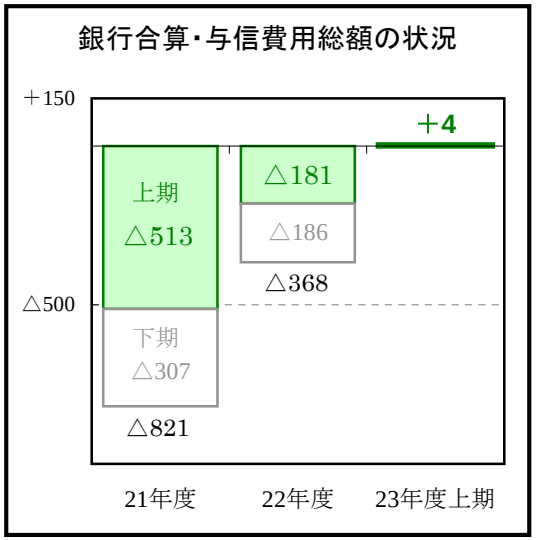
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅴ．与信費用・開示不良債権の状況

		銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
	信託勘定処理	0	0	—	—
	一般貸引繰入額	220	163	33	22
	個別貸引繰入額	△272	△206	△41	△24
	償却他処理額	△174	△117	△27	△28
	償却債権取立益	230	202	18	8
与信費用総額		**4**	43	△16	△22
①	新規発生	**△274**	△170	△51	△52
②	区分改善	**28**	23	3	0
③	オフバランスなど	**30**	26	△3	6
④	一般貸引	**220**	163	33	22





① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
④ 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等（一部、目的取崩等を考慮）

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	741	444	178	118
危険債権	4,344	2,974	812	556
要管理債権	1,580	1,051	231	297
開示不良債権計	**6,666**	4,471	1,221	973
23年3月末比	＋99	＋83	＋4	＋10
不良債権比率※1	**2.50%**	2.52%	1.89%	3.92%
23年3月末比	＋0.06%	＋0.08%	＋0.00%	＋0.13%

※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計（総与信）【銀信合算】
※2. 規制対象外株式（子会社・関連会社株式・非上場株式）を除いて算出しております。

Ⅵ．有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	464	179	209	74
その他有価証券※3	**638**	282	362	△6
23年3月末比	△288	△322	△0	＋34
債券※4	**86**	△41	122	5
うち 変動利付国債	△26	△25	△1	1
株式	**669**	414	243	11
その他	**△117**	△89	△3	△24
株式残高（取得原価ベース）※2	3,491	2,741	695	53

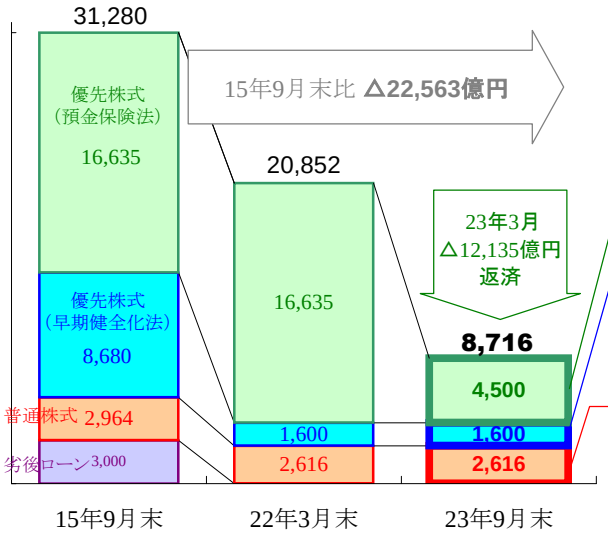
※3. 時価のある有価証券のみを対象として記載しております。「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております。
※4. その他有価証券の債券（うち国債）に含まれる変動利付国債の時価は、日本証券業協会売買参考値を用いて算出しております。なお、社内管理ベースの理論価格で試算した場合、評価差額は68億円となります。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅶ. 公的資金の状況等

（単位：億円）

	15年9月末残高 ①	23年9月末残高 ②	②－①	返済時期
公的資金合計	31,280	**8,716**	**△22,563**	
優先株式	25,315	6,100	△19,215	
早期健全化法	8,680	1,600	△7,080	
乙種	4,080	－	△4,080	H.21.3 完済
丙種	600	600	－	
戊種	3,000	－	△3,000	H.21.3 完済
己種	1,000	1,000	－	
預金保険法	16,635	4,500	△12,135	
第1種	5,500	－	△5,500	H.23.3 完済
第2種	5,635	－	△5,635	H.23.3 完済
第3種	5,500	4,500	△1,000	H.23.3 一部返済
劣後ローン	3,000	－	△3,000	
金融安定化法	2,000	－	△2,000	H.17.10 完済
早期健全化法	1,000	－	△1,000	H.21.3 完済
普通株式	2,964	2,616	△347	H.17.2ほか計3回 返済



『今後の返済方針』

預金保険法優先株式 4,500億円
今後の利益蓄積により返済する予定
5年程度での完済を展望

早期健全化法優先株式 1,600億円
一斉取得となった場合に交付することとなる普通株式は既に自己株式として保有

預金保険法普通株式 2,616億円
預金保険法優先株式の返済を優先当面、当社として売出しの申し出は行わない予定

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅷ. 自己資本比率の状況

	23年9月末〔速報値〕 ①	①－②	23年3月末 ②
HD連結・自己資本比率（第二基準）	**12.47%**	＋1.26%	11.21%
Tier 1比率	8.67%	＋1.16%	7.51%
繰延税金資産比率※1	10.71%	△2.46%	13.17%
HD連結・BIS自己資本額	22,088	＋898	21,190
うち Tier 1	15,366	＋1,177	14,189
HD連結・リスク・アセット等	177,064	△11,874	188,938
HD連結・総所要自己資本額※2	14,165	△949	15,115
【参考】			
HD連結・自己資本比率（第一基準）	12.61%	＋1.18%	11.43%
Tier 1比率	8.50%	＋1.18%	7.32%

	りそな《連結》	埼玉りそな〈単体〉	近畿大阪《連結》
自己資本比率（国内基準）	**13.14%**	**13.07%**	**14.34%**
23年3月末比	＋1.38%	＋0.97%	＋1.49%
Tier 1比率	9.35%	8.54%	9.20%
BIS自己資本額	16,744	4,554	1,897
23年3月末比	＋672	＋114	＋82
うち Tier 1	11,920	2,978	1,216
リスク・アセット等	127,357	34,837	13,223
23年3月末比	△9,247	△1,844	△891
総所要自己資本額※2	10,188	2,787	1,057
23年3月末比	△739	△147	△71

※1　繰延税金資産の純額÷Tier 1

※2　総所要自己資本額は「リスク・アセット等×8%」により算出しております。

Ⅸ. 平成24年3月期 通期の業績予想

（単位：億円）

	HD《連結》			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
連結経常収益	4,532	**8,800**	＋500	＋202
連結経常利益	1,566	**2,350**	＋450	＋248
連結当期（中間）純利益	1,282	**1,700**	＋200	＋100
期末自己資本比率見込		11%台後半		

	HD〈単体〉			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
営業収益	800	**1,580**	＋80	＋1,267
営業利益	761	**1,500**	＋100	＋1,240
経常利益	762	**1,500**	＋100	＋1,267
当期（中間）純利益	762	**1,500**	＋100	＋1,238

24年3月期末普通配当予想※	12円
24年3月期末優先配当予想※	所定の配当

※ 配当状況・予想の詳細については「第2四半期 決算短信」表紙2.配当の状況をご覧下さい。

	銀行合算 【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
業務粗利益	3,094	**6,100**	＋80	＋43	4,080	＋110	＋72	1,480	△10	△3	540	△20	△26
経費	△1,700	**△3,420**	＋20	＋36	△2,250	＋10	＋25	△765	＋5	△3	△410	—	＋8
実勢業務純益	1,393	**2,680**	＋100	＋80	1,830	＋120	＋98	715	△5	△5	130	△20	△17
経常利益	1,442	**2,170**	＋350	＋240	1,500	＋310	＋162	620	＋20	＋41	45	＋20	＋33
税引“前”当期（中間）純利益	1,426	**2,120**	＋120	△57	1,460	＋100	△93	610	＋15	＋24	45	—	＋7
税引後当期（中間）純利益	1,222	**1,620**	＋170	＋115	（連結納税制度を採用しております）								
株式関係損益	3	**—**	—	＋17	—	—	＋19	—	—	＋1	—	—	△4
与信費用総額	4	**△520**	＋70	△152	△370	＋30	△195	△75	＋25	＋32	△70	＋15	＋14
					《連結》			〈単体〉			《連結》		
期末自己資本比率見込					11%台後半			11%台後半			12%台後半		

本資料中の将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。
本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
併せて、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示